



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年1月29日

上場会社名 櫻島埠頭株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 9353 URL http://www.sakurajima-futo.co.jp/  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)平井 正博  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役(総務担当) (氏名)増田 康正 (TEL)(06)-6461-5331  
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日) (百万円未満切捨て)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	3,347	0.4	76	491.0	122	98.0	125	175.0
27年3月期第3四半期	3,333	—	12	—	61	—	45	—

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 142百万円(△5.0%) 27年3月期第3四半期 150百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	8.33	—
27年3月期第3四半期	3.03	—

※平成27年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成27年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	5,802	3,767	64.9
27年3月期	6,145	3,639	59.2

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 3,767百万円 27年3月期 3,639百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	—	—	1.00	1.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※平成28年3月期(予想)の期末配当金については、未定であります。

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,400	△5.8	40	△30.0	70	△34.0	70	△16.1	4.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 — 社 (社名) 、除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は添付資料3ページ、「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

28年3月期3Q	15,400,000株	27年3月期	15,400,000株
28年3月期3Q	381,232株	27年3月期	381,232株
28年3月期3Q	15,018,768株	27年3月期3Q	15,019,967株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
2. 平成28年3月期の配当金につきましては、現時点では未定とさせていただきます。今後の事業推移や業績見通しを勘案の上で、決定次第速やかに開示を行う予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、政府の経済政策や日銀の金融緩和政策により、企業収益の改善や設備投資に持ち直しの動きが見られるなど、回復基調が続いているものの、中国をはじめとする新興国経済の減速や原油価格の下落の影響などが懸念され、先行きについては依然として不透明な状況で推移しました。

このような情勢のもと、当社グループは、より質の高い物流サービスを提案、お客様ニーズにフレキシブルに対応する一方、新規のお客様や新規貨物の誘致勧誘を行うなど、積極的な営業活動に取り組みました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は33億4千7百万円となり、前年同期に比べ1千3百万円、0.4%の増収となりました。

売上原価につきましては、修理維持費や減価償却費が減少したことなどから、29億4千3百万円となり、前年同期に比べ6千7百万円、2.2%の減少となりました。一方、販売費及び一般管理費については、3億2千6百万円となり、前年同期に比べ1千7百万円、5.6%の増加となりました。

以上により、当第3四半期連結累計期間の営業利益は、7千6百万円となり、前年同期に比べ6千3百万円、491.0%の増益となりました。経常利益は、受取配当金を収受したことなどにより、1億2千2百万円となり、前年同期に比べ6千万円、98.0%の増益となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、1億2千5百万円となり、前年同期に比べ7千9百万円、175.0%の増益となりました。

セグメント別の営業の概況は、次のとおりです。

#### (ばら貨物セグメント)

ばら貨物については、第2四半期以降に主に石炭やソーダ灰の入着数量が大幅に増加したことにより、海上運送業務を除く、各業務において前年同期に比べ取扱数量が増加しました。

以上により、ばら貨物セグメントの売上高は17億2千4百万円となり、前年同期に比べ6千4百万円、3.9%の増収となりました。

#### (液体貨物セグメント)

液体貨物については、荷動きは前年同期並みとなったものの、工業原料油の運送業務が終了したことなどが影響し、前年同期比やや低調に推移しました。

以上により、液体貨物セグメントの売上高は8億4千7百万円となり、前年同期に比べ1千1百万円、1.4%の減収となりました。

#### (物流倉庫セグメント)

物流倉庫については、危険物倉庫が荷動きの少ない塗料の原材料倉庫になったことや、低温倉庫と冷蔵倉庫の取扱数量が夏場に減少したことなどから、当該3倉庫は前年同期に比べ減収となりました。食材加工施設の売上高は前年同期並みを維持しました。

以上により、物流倉庫セグメントの売上高は7億5千7百万円となり、前年同期に比べ3千8百万円、4.8%の減収となりました。

#### (その他のセグメント)

その他のセグメントの売上高については、主に売電事業により、前年同期並みの1千7百万円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は58億2百万円となり、前連結会計年度末に比べて3億4千2百万円減少しました。これは現金及び預金が減少したほか有形固定資産が減価償却の実施などにより減少するなどしたことによるものです。

負債合計につきましては、長期借入金や役員退職慰労引当金などが減少したことなどから、前連結会計年度末に比べて4億7千万円減少し、20億3千4百万円となりました。

純資産合計につきましては利益剰余金の増加などにより前連結会計年度末に比べて1億2千7百万円増加し、37億6千7百万円となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益は、それぞれ通期業績予想数値を上回りましたが、第4四半期会計期間に予定している修繕等により売上原価の増加が見込まれるため、平成28年3月期の通期の連結業績予想につきましては、平成27年5月15日に公表しました業績予想数値から変更しておりません。ただし、修正の必要が生じる場合には速やかに開示いたします。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、  
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び  
「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)  
等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額  
を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更い  
たしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定  
による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方  
法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、  
前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っ  
ております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び  
事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点  
から将来にわたって適用しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	808,200	590,255
受取手形及び売掛金	533,814	439,790
有価証券	30,000	30,000
貯蔵品	23,636	23,302
その他	55,742	187,950
貸倒引当金	△4,661	△3,460
流動資産合計	1,446,732	1,267,837
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,376,037	1,240,658
その他	701,654	592,134
有形固定資産合計	2,077,692	1,832,793
無形固定資産		
のれん	7,598	6,173
その他	182,443	184,931
無形固定資産合計	190,041	191,105
投資その他の資産		
投資有価証券	1,981,996	2,038,217
その他	448,613	472,428
投資その他の資産合計	2,430,609	2,510,646
固定資産合計	4,698,343	4,534,545
資産合計	6,145,076	5,802,382
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	257,868	206,936
1年内返済予定の長期借入金	314,680	274,520
未払法人税等	9,545	5,622
賞与引当金	40,453	21,796
その他	374,400	376,644
流動負債合計	996,948	885,520
固定負債		
長期借入金	605,930	412,490
役員退職慰労引当金	111,594	61,983
環境対策引当金	56,625	53,557
退職給付に係る負債	1,118	2,072
資産除去債務	20,355	20,582
その他	712,803	598,598
固定負債合計	1,508,426	1,149,284
負債合計	2,505,374	2,034,804

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	770,000	770,000
資本剰余金	365,161	365,161
利益剰余金	1,799,843	1,909,868
自己株式	△54,246	△54,246
株主資本合計	2,880,758	2,990,783
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	758,942	776,795
その他の包括利益累計額合計	758,942	776,795
純資産合計	3,639,701	3,767,578
負債純資産合計	6,145,076	5,802,382

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	3,333,431	3,347,382
売上原価	3,011,087	2,943,859
売上総利益	322,344	403,522
販売費及び一般管理費	309,346	326,705
営業利益	12,997	76,816
営業外収益		
受取利息	1,224	930
受取配当金	42,413	44,806
その他	18,773	13,499
営業外収益合計	62,411	59,236
営業外費用		
支払利息	13,452	10,390
その他	10	3,005
営業外費用合計	13,462	13,395
経常利益	61,946	122,657
特別利益		
保険解約返戻金	-	3,733
ゴルフ会員権売却益	-	3,229
固定資産売却益	-	2,864
特別利益合計	-	9,827
特別損失		
固定資産除売却損	4,672	3,843
特別損失合計	4,672	3,843
税金等調整前四半期純利益	57,273	128,640
法人税、住民税及び事業税	5,932	5,373
法人税等調整額	5,868	△1,776
法人税等合計	11,801	3,597
四半期純利益	45,472	125,043
親会社株主に帰属する四半期純利益	45,472	125,043



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	45,472	125,043
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	104,936	17,852
その他の包括利益合計	104,936	17,852
四半期包括利益	150,408	142,896
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	150,408	142,896

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。